

熊本スーパーハイスクール (KSH) 構想県指定校事業

指定校種 (イノベーション) ハイスクール	学校名 第二高等学校
----------------------------	---------------

1 事業主題
オール熊本によるトップレベルのイノベーション人材育成

2 事業主題の設定理由
県内スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校、理数系学科設置校をリードし、県内大学と熊本サイエンスコンソーシアム (KSC) との間で、育成する人材像の共通理解を形成し、高校・大学・大学院と長期に渡るカリキュラム開発及び評価システムを構築する。また、大学入試制度や単位互換等、高大接続研究等を発展させ、イノベーション人材の育成システムの自走化につなげる。

3 事業内容



科学技術におけるトップレベルのイノベーション人材育成





崇城大学
SOJO UNIVERSITY



熊本保健科学大学
Kumamoto Health Science University

高校から大学までシームレスな7年間の学びを提供、評価

探究活動支援入試
高校時代の課題研究や探究活動を評価する入試(崇城大学)



連携協定
高大接続研究



研究支援
大学の教員が対面やオンラインで高校生の研究活動を支援

**熊本サイエンス
コンソーシアム(KSC)
加盟校 (8校)**



文科省指定 SSH スーパーサイエンスハイスクール



熊本西高校 (サイエンス情報科)

第二高校、熊本北高校、宇土高校
天草高校、鹿本高校



東稜高校 (理数コース)



大津高校 (理数科)

熊本スーパーハイスクール（KSH）構想県指定校事業

令和4年度（2022年度）熊本サイエンスコンソーシアム（KSC）担当者交流会

1 目的

熊本サイエンスコンソーシアム（KSC）事業に関わる先生方の研修と情報交換の機会を提供し、各校の取組発展に資する。また、令和4年度から令和6年度の3年間かけてKSCで育成する科学技術人材像や資質・能力について大学や企業関係者等の意見も踏まえ共通理解を形成する。

2 日程

令和4年11月25日（金）13時00分～16時30分

3 会場

第二高校 アクティブラーニングルーム

4 参加者

県教育委員会関係者、県内SSH運営指導委員、KSC構成職員等

5 指導・助言者

科学技術振興機構	主任調査員	野澤	則之	様
学校法人银杏学園	理事長	木下	統晴	様
崇城大学	副学長	松下	琢	様
KA Office	社長	大脇	光一	様

6 内容

(1) 開会行事・事務連絡

KSH生徒研究発表会（12月3日@崇城大学）の運営について等

(2) 第1回共創ワークショップ

「KSCで育成する科学技術人材に必要な資質・能力」についてグループ協議

ファシリテーター 熊本北高校 指導教諭 溝上 広樹 先生

(3) 各校取組紹介ポスターセッション

各校の取組概念図等を拡大ポスターにして、取組紹介を行うポスターセッション



ワークショップの様子



「SSH や理数教育での現在の課題」
ブレインストーミングのアウトプット